

市民と吹田市民病院をつなぐ広報誌

ともに

07

2019年
春号

特集

体への負担が少ない
LDR^{エルデーアール}で
出産しませんか

市民とともに心ある医療を

地方独立行政法人 市立吹田市民病院は「市民とともに心ある医療を」の基本理念に基づき、急性期医療や高度医療、救急医療を中心に、吹田市の中核病院として、質の高い安全な医療の提供に努めています。それらの取り組みを、広報誌「ともに」を通じて市民の皆さまにお伝えいたします。

手術支援ロボットって何ですか？

市立吹田市民病院では手術支援ロボット“ダヴィンチ”を導入しました。当院の腎臓泌尿器科部長で日本泌尿器内視鏡学会 泌尿器ロボット支援手術プロクター認定医の田中智章先生にお話を聞きました。

手術支援ロボットとは何ですか？

手術支援ロボット(ダヴィンチ)とは米国で開発された最新鋭の内視鏡手術支援ロボットです。ロボットといっても、自動でロボットが手術を行うのではなく、あくまで医師がロボットを遠隔操作して手術を行います。ロボットは本体と操作台、助手用のモニターなどで構成され、ロボット本体には3本のアームと1本のカメラが装着されています。術者はケーブルでつながった操作台に座り、中に映し出される3D画像を見ながらアームを操り、患部の切除や縫合をします。

“ロボットに手術される”少し不安です

ロボット手術は、認定資格を取得し、トレーニングを積んだ熟練した技術を持つ医師によって行われます。また、医師は日々技術を高め、いく訓練を重ねています。ロボットはあくまで医師の技術をサポートするのが役割です。医師がロボットを活用し、より精度の高い手術が可能としたのがロボット手術です。

手術支援ロボットを使用するメリットはありますか

支援ロボットを用いた手術は、従来の手術と比較して、鮮明な視野と精密な操作性が得られます。より一層確実な手術操作ができ、術後の合併症の減少や早期の退院が期待できます。

今後はこのような“手術支援ロボット”による医療が広がるのでしょうか？

まだすべての手術でこのような手術が行えるわけではありません。国内では前立腺がんに対して、健康保険が適用されており、当院は腎臓泌尿器科の疾患でロボット支援技術を用いています。将来的には、ほかの診療科でもロボット支援技術による手術が可能となるよう対応していきたいと考えています。



腎臓泌尿器科
田中 智章(部長)



最新式
da Vinci X



かかりつけ医をもちましょう

当院を受診の際は
かかりつけ医を通じて
ご予約をお取りしています

診療所(かかりつけ医)を通じて医療機関から当院の診察・検査の予約をお取りしています。診察予約を取られた患者さまは待ち時間が比較的少なく、専門の医師が診察を行います。



お知らせ

小児救急診療日の縮小について

当院は日曜日午前10時～午後4時30分まで小児救急を開設していましたが、小児科医師の確保が困難となり、やむを得ず平成31年3月から、日曜日の小児救急を中止することになりました。3月以降の日曜日につきましては、豊能広域こども急病センターおよび吹田市立休日急病診療所のご利用をお願いいたします。

なお、小児救急は、3月以降、祝日(日曜日を除く)を含め、次のとおり引き続き実施します。

土曜日(祝日を除く)	9:00 ~ 14:30
祝日(日曜日を除く)	9:30 ~ 16:30
月曜日～金曜日(祝日を除く)	17:00 ~ 19:00
火・水・木・日曜日	7:00 ~ 9:00

チームで
お産を
サポート

安心・快適な環境で 出産しませんか



市立吹田市民病院は平成30年12月に新築移転し、施設や設備が一新しました。産科では陣痛から出産、回復期まで一貫して過ごせる部屋(LDR)を導入したほか、新生児病床を充実し、妊産婦さんや赤ちゃんが安心・快適に過ごせる環境を整えています。

当院では妊娠中から出産・産後まで同じ助産師チームが担当します。ぬくもりのある連続的なケアで妊産婦さんとご家族をサポートし、安心・安全なお産をめざします。また「産後ケア事業」ではデイケアや宿泊ケアを行い、産後のお母さんを応援しています。



リラックス
できると
好評です♪

エルディーアール LDR
LDRは陣痛(Labor)・分娩(Delivery)・回復(Recovery)の頭文字で、入院から陣痛・分娩・回復を一つの個室で過ごせるシステムのことです。分娩後は体力回復に時間がかかるため、妊婦さんの体の負担が減らせるとともに、緊急時にもベッドのまま移動できるメリットがあります。当院ではすべての妊婦さんにご利用いただいています。



部屋(個室)
個室と大部屋があります。個室にはシャワーやトイレ、ソファなどを設置しています。窓からは市街が見渡せます。



ダイルム
ご家族とお食事をするなど回らんのひとときを過ごせるスペースです。



リラコン
アロマオイルの香りがする助産師手作りのグッズをプレゼント。



JR岸辺駅から直結徒歩約5分

まずは
外来を受診
してください



私たちが担当します



妊婦健診
超音波検査や血液検査などで妊娠の状態を確認するとともに、ハイリスク妊娠の早期発見を行います。12週以降は4週間おき、28週以降は2週間おきの健診になります。

外来受付
平日(8時30分~11時)の妊婦健診を受診してください。ご不安なこと、ご質問等お気軽に相談してください。(女性医師複数名在籍)



育児に
関する相談も
お聞きします



産後のサポートも万全
出産後も沐浴指導や小児科回診などで、お母さんと赤ちゃんをしっかりサポートします。

市民病院で出産／里帰り出産をご希望の方へ
当院で出産をご希望の方は20週までに当院の妊婦健診(平日8時30分~11時)を受診してください。※遅くとも34週までにお越しください。里帰り出産をご希望の方は、それまでかかられていた医療機関からご予約をお取りすることができます。(分娩予約金不要)

問合せ TEL.06-6387-3311(代) 平日14時~17時 産婦人科外来



助産師外来・マザークラス
従来の妊婦健診に加えて、経験豊かな助産師が専門的な知識を生かしてアドバイスをします。妊娠中の体の不調や悩みについても気軽に相談できます。また、安心して出産に臨めるよう、妊娠の基礎知識などが学べるマザークラスもご用意しています。

複数の診療科を有する総合病院ならではの特長を生かし、合併症を持つ妊婦さんも積極的に受け入れています。社会的支援が必要な妊婦さんには公的機関と連携したサポートも行っています。



自然なお産をめざします
当院では可能な限り自然なお産をめざすと同時に、出産を通して家族の絆を深められるよう、早期母子接触、母子同室、母乳育児に力を入れています。市民の方はもちろんのこと、市外の方も受け入れていますので、ぜひ当院の産科をご利用ください。

産婦人科 特任副院長 西崎 孝道

駅・商業施設に近くて便利

JR岸辺駅から連絡通路で直結しており、複数の飲食店や食品スーパー、ホテル、100円ショップなどが入る複合商業施設に隣接した便利な立地にあります。また、病院内にはコンビニエンスストア、カフェなどがあり、おつろぎいただけます。



複合商業施設「VIERRA岸辺健都」



病院内レストラン



コンビニエンスストア



カフェ

アクセス



JR岸辺駅との連絡通路